



光ファイバーに対してビームを集光し入射する場合、組合せレンズ、対物レンズ、屈折率分布型レンズ及びボールレンズ等の光学部品が使用されます。メスグリオではこれらの光学部品を供給すると共に、ナノポジショナ及び固定ブラケットにこれらをマウントするためのホルダをご用意しています。対物レンズ及び組合せレンズのホルダに関しては、P5-11をご参照ください。

屈折率分布型レンズホルダ

屈折率分布型レンズには、以下のような用途があります。ダイオードレーザーからの光を集光しファイバーに入射する(0.29ピッチ)、ダイオードレーザーからの光をコリメートする、もしくはコリメートされたビームをファイバーに入射する(0.23ピッチ)等です。メスグリオがご用意する屈折率分布型レンズは、直径、ピッチ、使用波長(633、830、1300、1550 nm)の選択が可能です。このレンズの詳細に関しては、レーザー&オプティクスガイド(1)の「ダイオードレーザー用光学部品」の章をご参照ください。

17 HGIシリーズの屈折率分布型レンズホルダは、直径1 mmから3 mmの屈折率分布型レンズを、精密に加工されたV溝内にスプリングクランプがしっかりと固定します。ホルダは、ナノポジショナのプラットフォームもしくはブラケットの位置決めスロットに、簡単に位置決めされます

17 HGI 001 屈折率分布型レンズホルダは、長さ30 mmのベース部が備わっています。ショートタイプの17 HGI 003は、ベース部の長さが15 mmで、スペースの限られた実験に適しています。

ボールレンズホルダ

ボールレンズは、ファイバーとダイオードレーザーもしくはディテクタをカップリングする際に使用されます。このレンズを2本のファイバーのカップリングに使用する場合一度拡大され、ファイバーを直接バットカップリングする場合より横方向のズレに対して許容度が増します。また、高いカップリング効率を得られ、対物レンズもしくは屈折率分布型レンズの代わりに使用することができます。メスグリオがご用意するボールレンズの詳細に関しては、レーザー&オプティクスガイド(1)の「ダイオードレーザー用光学部品」の章をご参照ください。2、3、5mmの3種類の直径と、633、830、

屈折率分布型レンズ及びボールレンズホルダ

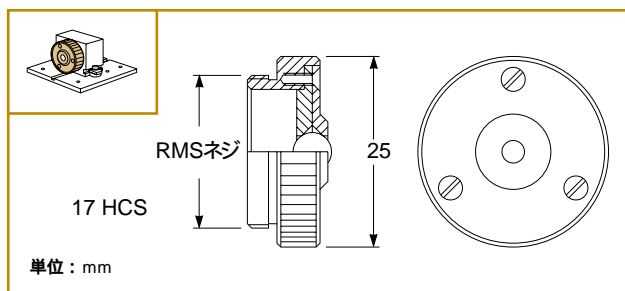
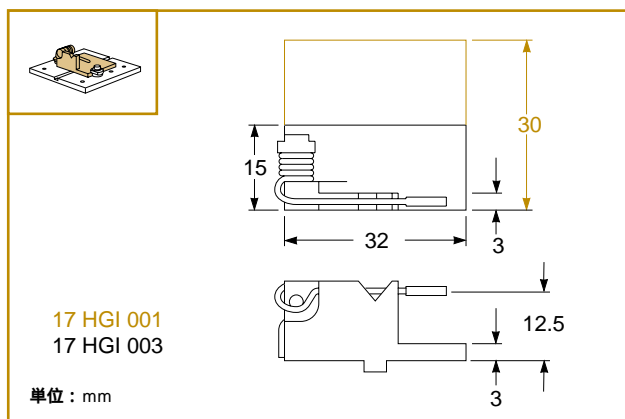
Gradient-Index
and Spherical Ball Lens Holders

1300、1550 nm用減反射コーティングを施した製品をご用意しています。

17HCSシリーズのボールレンズホルダは、マウントされるレンズ直径に合わせた2つのクランプリングと、共通の真鍮製ハウジングにより構成されています。このホルダをプラットフォーム上にマウントするには、RMSネジが備わる対物レンズマウント17 HMO 001が必要です(P5-11を参照)。

屈折率分布型レンズ及びボールレンズホルダ

	製品番号
屈折率分布型レンズホルダ(長さ30 mm)	17 HGI 001
屈折率分布型レンズホルダ(長さ15 mm)	17 HGI 003
ボールレンズホルダ	
直径2 mm用	17 HCS 001
直径3 mm用	17 HCS 002
直径5 mm用	17 HCS 003



17 HGI 及び 17 HCS レンズホルダ